

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
インフラ・防災・防犯	1	縦方向をつなぐアクセスについて	共通	ふれあいバスが非常に使いづらいです。市長は印西市の縦方向を強化すると言っていますが、横方向ばかりで役に立っていません。通勤中に使えないので、市役所を前提とした方向ではなく、通勤を考慮してほしいです。	来年度、バスを2路線増やす計画があります。1つは病院の周りを循環するバス、もう1つはニュータウンから在来地区に向かうバスです。利用者は主にシニアの方々と通学の方々です。印西市はニュータウンと在来地区があり、民間のバスと競合する環境です。例えば、レインボーバスは収益率が低く、赤字になりかけています。ふれあいバスもレインボーバスに依頼していますが、抜本的に見直す時期に来ていると思います。来年度はふれあいバスの増便で対応しますが、タクシーや乗り合いの利用も検討しています。ふれあいバスのルート見直しは進行中です。病院や駅に直行できるルートを優先しています。	—	交通政策課
インフラ・防災・防犯	2	ふれあいバスのルートについて	共通	ふれあいバスのルート見直しが進んでいるようですが、早く実現してほしいです。		—	交通政策課
インフラ・防災・防犯	3	避難所の設置について	木下	避難所を増やしてほしいです。特に丘の上にある木下小学校は急な坂があり、高齢者にとっては危険です。駅の南口にあるにぎわい広場に避難所を設置するのも良いと思います。現在、にぎわい広場はあまり利用されていないので、もったいないと感じます。避難所として利用できるようにしてほしいです。	大森地区、特に六軒では、災害時の避難所について多くの方が心配しています。利根川の氾濫だけでなく、手賀沼からの川の氾濫も頻繁に起こり、大きな被害を受けています。特に昭和前半には大きな排水機場がありましたが、現在は新しい工事が進行中です。 避難先が印西中学校ではお年寄りが歩けないため、にぎわい広場に仮設の避難場所を作る必要があります。にぎわい広場を中心とした避難場所の設置を検討中ですので、もう少し時間をいただくと幸いです。	—	防災課
インフラ・防災・防犯	4	トラックステーションの導入について	共通	先月までトラックドライバーをしていましたが、トラックを止められる場所がほとんどありません。トラックステーションの周りやグッドマングループの周辺のゼブラゾーンには縁石が置かれていて、駐車ができない状況です。住宅街や464号バイパスでも同様に縁石で駐車が制限されています。印西市が先頭に立って、トラックドライバーにも優しい市になってほしいと思います。	トラックの退避場所の問題は深刻です。道の駅の設置を提案する声もありますが、既に飽和状態で、印西市では難しいです。成田空港からの景色に調和した施設を作ることが解決になるかもしれませんが、実現には10年ほどかかります。短期的な対策については、担当課と議論を重ねたいと思います。	—	経済振興課
インフラ・防災・防犯	5	ひょうたん池の管理について	竹袋	ひょうたん池を作った時、その後の維持費などを考えているのか知りたいです。公園の中の藻が増えてしまい、以前はきれいな水仙が咲いていましたが、今はなくなってしまいました。周りのボランティアの方々がきれいにしている一方で、中は市の管轄で藻が生えたままです。臭いもあり、ドブのような状態です。こうした状況に対して、どのように予算を組んでいるのか教えてください。	ひょうたん池は現在、民間の方に管理を任せていますが、安全性の観点から常時管理が難しい部分があります。こちらは持ち帰って状況を確認し、改善策を検討します。他の方からも同様の意見をいただいています。	竹袋調整池（ひょうたん池）については、令和5年度から令和9年度にかけて、調整池内に堆積した土砂を搬出する工事などを実施し、雨水排水を抑制する施設としての機能維持に取り組んでいるところでございます。	土木管理課
インフラ・防災・防犯	6	木下万葉公園の管理について	木下	万葉公園の管理が不十分で、篠が多くなっています。県の管轄ですが、どう連絡すれば良いですか	万葉公園は市の管理です。隣には木下交流の社があります。歴史資料センターの前のスペースを使っていますが、刈った後の草がしばらく置きっぱなしになっています。刈る人と持っていく人が別なので、こういうことが起こります。根本的には、ああいう場所をお金になるように回していくのが良いと思います。商業施設やカフェなどを民間に作ってもらい、収益を公園の整備に使うのが筋だと思っています。例えば、parkPFIという仕組みを活用する余地が印西にはまだまだあると思います。	—	都市整備課
インフラ・防災・防犯	7	縦方向のアクセスの改善と交通量の増加への対応について	共通	成田線沿線の活性化にもつながると思いますが、デキシーの跡地をにぎわい拠点として考えているとのこと。ニュータウンから多くの人を呼び込むようなにぎわい拠点づくりはありがたいですが、交通の課題が増えてしまうのが心配です。私は運転が得意ではないので、車が増えると怖く感じます。自家用車に頼らない移動手段を拠点の跡地活用と合わせて検討していただきたいです。また、ニュータウンと旧市街では抱えている課題が違ふと感じます。旧市街があつてのニュータウンだと思うので、しっかりと皆さんの話を聞いていただきたいです。	印西市内でも地域ごとに違いがあります。木下、大森など地域によって課題が異なります。選挙のときに全地区を歩きましたが、同じ在来地区でも違いがあります。駅に近い在来地区では若い人が増えているところもありますが、私の地元では難しいです。地域ごとの違いを理解し、まちづくりを進める必要があります。 地域コーディネーター制度を導入し、地域の課題を掘り出し、人々をつなぐ取り組みを進めたいです。来年どこかの地区で導入を目指しています。理想は地元出身の職員です。 ニュータウンと木下大森のアクセス問題もあります。シェアサイクルやキックボードなどの手段も検討していますが、道が悪い問題があります。コスモス通りをつなげることで改善できるはず。土地収用の問題が残っており、体制を強化しています。4年間で動かせるように準備を進めています。	—	市民活動推進課 道路建設課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
インフラ・防災・防犯	8	外国人犯罪について	共通	外国人犯罪が増えている印象があります。成田線沿線の外国人、大丈夫かな。どうなっているかなと思います。	外国人犯罪への対策について、まず考えなければならないのは、外国人をひとくくりにして良いのかという問題です。皆さん日本人ですが、日本人をひとくりにされると違和感がありますよね。いろいろな人がいて、非常に文化的に洗練されている方も多いです。これから長期的に人が減っていく中で、どういう方々に選んでもらえるまちなにするのが重要です。世界の玄関口として魅力あるまちにすることが大前提です。その上で、犯罪は外国人に限らず、今非常に増えています。市としても対策を進めています。来週から市議会が始まり、防犯について多くの質問が寄せられています。強盗の話は外国人だけでなく、日本人も加害者になっています。防犯カメラの補助金は予算が200万円あり、1台20万円まで補助しますが、今年度の利用は0件です。補助金を知らない方が多く、プライバシーの問題で合意が難しいこともあります。行政が積極的に制度を広め、利用時には調整に入ることが大事です。その辺の対策をしっかりと進めていきたいと考えています。	—	市民活動推進課 企画政策課
インフラ・防災・防犯	9	市内のタクシー不足について	共通	先ほどふれあいバスのことでタクシーの話がありましたが、私は障がい者向けのタクシー補助券をもらっています。しかし、駅前にタクシーがいない状況です。信号機が必要なのか疑問です。病院のバスも一度横に外れると雨に降られるため、タクシーを利用したいのですが、夜は怖くて運転できません。朝早くも考えています。舗装工事は障がい者にとって非常に重たい問題です。周りで大声を聞いていると不安になります。タクシーの利用を考えています。	ご指摘の点もその通りだと思いますので、今後の対応を考えさせてください。ライドシェアの導入も検討していきたいと考えています。印西市でライドシェアを導入しようとすると、乗り合いサービスになりますが、まだタクシーがあるじゃないかという話になると思います。ただ、本当にそうなのかという疑問もあります。その上で、タクシー助成を続けながら、いろいろな課題が出てくると思いますので、それを踏まえて次の手として抜本的にライドシェアの解禁なども含めて考えていかなければならないと思っています。	タクシー利用券の実証実験と併せ、引き続き、地域の特性にあわせた、様々な交通手段による、地域公共交通ネットワークの構築に向け、検討を重ねてまいります。	交通政策課
教育・子育て	10	通学時の安全について	共通	孫が来年中学校に入ります。毎朝7時前から8時20分まで大森小学校の正門前で安全確認をしています。登校ルールが複雑で大変です。親たちも子どもを送迎していますが、安全面で不安を感じています。特に、信号機の安全確認や他の先輩を見習うことが求められています。登校場所やルールが複雑で、親たちもその付近まで送ってきている状況です。安全面の改善をお願いしたいです。	安全対策については、木下・大森エリアの県道沿いの歩道が不足していることや、古新田の子どもたちの通学の安全確保が課題です。現状を確認しながら、教育長と連携して対応したいと思っています。また、来年度から地域で学校を支えるコミュニティスクールを始める予定で、木下・大森小学校区と印西中学校区から取り組みを進めていきます。	—	指導課 市民活動推進課
教育・子育て	11	牧の原地区の学校について	牧の原	牧の原地区では、牧の原小学校と原小学校が非常にマンモス校になっています。開校当初は校庭も広くて良い学校でしたが、校舎の分離が進んで残念な状態になってしまいました。中学校についても、牧の原地区には北の滝野と南側の西の原しかなく、数年後には両中学校もパンクしてしまうのではないかと心配しています。この点について、市の方でどのように対策を考えているのか教えてください。	過大規模校への対応として、現在考えているのは小学校の分離施設です。市役所内でも検討しており、12月後半に保護者の方々に説明会を設ける予定です。しかし、場所の確保が非常に難しいです。特に駅前には民間の方々が持っている土地がありますが、商業的な目的があり条件が折り合いません。貴重な税金を投入するため、慎重に検討しています。市街化調整区域の畑なども検討していますが、学校を作るには約2.5ヘクタールのまとまった土地が必要です。多くの場所が既に埋まっており、選択肢が少なくなっています。まずは原小学校の分離・新設を進めています。特に西の原中学校については、原小学校の子どもたちが進学するため、どう対応するかが論点です。中学校は科目の担任制であり、新しい中学校のクラス数が少なくなると、十分な先生方を配置できない問題があります。今のところ、原小学校の分離・新設が最適な方向性だと考えています。松の原小学校の保護者の方々や他の小中学校の保護者の方々にも問い合わせが多く、非常に悩ましい問題です。全体の状況を見ながら、まずは原小学校の分離・新設を進めることがぎりぎりできる対応だと思います。また、特色ある学校を増やし、子どもたちが選んで通えるようにすることも検討しています。不登校の子どもたち向けにフリースクールの助成も来年度導入を予定しています。少しずつ子どもたちの学びの環境を良くしていくことを進めていきたいと考えています。	—	学務課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
教育・子育て	12	平和教育について	共通	流山から引っ越してきました。引っ越してすぐに教育委員会と総務課に、学校教育の中で特に戦争関係や学童疎開の話をやらせていただきたいと申し出ました。流山でも長いことやっていたので、こちらでも需要があればと思ったのです。私の中にはそういう教育や関係の経験者が多くいます。私も来年90歳になりますが、学童疎開の経験者として、小学校3年生のときに学童疎開し、終戦を迎えました。東京だったので空襲の話などもあります。生きていうちに少しでもご披露できればと思い申し出ました。ぜひ、頑張ってもう少しやっていきたいと思っています。	平和教育については、これは非常に大事だと思っています。8月15日に平和の鐘を皆で文化ホールで鳴らすという平和を祈念するイベントがあります。また、11月には戦争で亡くなられた方々の御遺族の方々に集まっていただいて、皆さんで文化ホールでお祈りをするというようなイベントもあるんですけども、感じるのは参加者の方々の幅というんですかね、やはり当時を知る方々が中心になっていて、広く皆さんにこの戦争を考えていただく機会として、まだまだできることがあるんじゃないかなと思っています。やはり75年、80年迫っています、戦後。平和の大事さというのは変わらないことですので、学校教育については、当然教育委員会もありますけれども、もう少し平和教育なあり方というところについては、私としても教育長としっかりとお話をしていきたいと思っています。	市では次代を担う子どもたちに、平和の大切さや意味を考えてもらう機会を設け、平和についての理解を深めることを目的とし、市内の全中学校の3年生が「印西市平和への願いを込めた標語」を考えております。今年度は785作品の出品がありました。あわせて、市内の全小学校では、毎年、平和への願いを込めて、千羽鶴を制作しております。この千羽鶴は8月に市庁舎1階ロビーに、原爆写真パネル展と一緒に展示され、その後、広島平和記念公園及び長崎平和記念公園に拝呈しております。毎年8月15日に実施している平和祈念式典の中で「印西市平和の願いを込めた標語」入賞者の表彰式を実施しております。教育委員会として平和教育についても力を入れており、児童生徒が戦争体験者より体験談を聴く機会を設けております。上記の取組等に参加する児童生徒が年々増えております。戦争を体験されたときのお話し等を伺う機会を設け、学校などとの調整について考えてまいります。	指導課 総務課
まちづくり	13	市民活動団体の活動場所について	共通	ボランティア活動の場所探しに苦労しています。新しい施設が民間運営になると、従来の場所が使えるか不安です。	指定管理者については、民間に任せっていますが、施設の利用ルールは行政が決めています。利用条件が十分に知らされていないことが問題だと思います。広報チームとして、次の「広報いんざい」での連絡を含めて対応を考えたいと思います。	今後の中央駅前地域交流館の予約方法等の情報については、令和7年1月1日及び2月2日号の広報に掲載予定です。また、中央駅前地域交流館での今後の活動については、新施設（パレットⅡ）にて継続して行えるよう調整しております。	生涯学習課 市民活動推進課
まちづくり	14	施設改修中の市民活動団体の活動場所について	共通	総合福祉センター、駅前地域交流館、本埜ファミリア館の3カ所について、自分たちで場所を探してくれと言われていますが、探せません。交渉のしようもなく、どこに相談に行ったらいいのか分かりません。それぞれの施設は異なる団体が管理しており、相談窓口がないため、至るところに陳情していますが、答えが出ていません。駅前交流館は私たちのおもちゃ病院の活動場所として使ってきましたが、新しい施設では利用できないと言われております。今までの活動場所が使えなくなると、どうすればいいのか困っています。	大きな修繕が多く、市民の方々にはご迷惑をおかけします。総合センターの修繕は再来年度を予定しており、ファミリア館も同じタイミングで修繕が入ります。また、現在の支所も修繕が必要で、皆さんにご不便をおかけします。なるべく不便がないように、またたらい回しにしないように対応しますので、一度戻って確認させてください。貴重なご意見をありがとうございます。		生涯学習課 市民活動推進課
まちづくり	15	森林環境税について	共通	森林環境税の導入について、森林組合が国にお願いして実現しました。山の管理が重要です。	森林環境税の活用は多くの自治体で課題となっています。特にニュータウンが多い地域では活用が難しいですが、重要な財源です。光が入る森を作ることで、鳥獣被害の減少が期待されます。私の地域でもイノシシの被害が増えており、安全面での対策が必要です。印西市は森林面積が広く、グリーンインフラの重要性が高いです。森林環境税の活用をしっかりと検討していきたいと考えています。	森林環境税を財源に国から交付される森林環境譲与税の用途については、市ホームページにおいて公表しています。令和5年度においては、小中学生を対象にした林業体験教室の開催、市民を対象にしたチェーンソー・刈払機の安全講習会の開催や森林管理に対する補助金の交付等を実施しましたが、より良い活用を検討してまいります。	農政課
まちづくり	16	収容席の大きなホールの建設について	共通	文化ホールの収容席が少ないです。大きなホールを建設してほしいです	いろいろな方からも同じ意見をいただいております。1,000席から1,500席、ないしは2,000席のホールが必要だという話もあります。以前の仕事でコンサートホールの整備に関わったことがあります。整備だけで100億円近くかかる可能性があります。1,000席を作るだけでも50億から100億円かかります。その100億円をかけた場合、運営費は黒字で回せる可能性があります。初期コストは市の持ち出しになります。そのお金を文化ホールに使うべきか、新しい学校づくりに使うべきか、あるいは市役所の移転に使うべきか、非常に難しい問題です。多くの意見をいただいていることは承知していますが、財政面を考慮しながら議論を進めています。	—	生涯学習課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
まちづくり	17	クリーンセンターのプールについて	中央北、吉田	—	クリーンセンターも移りますけれども、今度、ニュータウンの方から、吉田地区、あそこのプールです、廃熱を使ったプール、あれを残してくれという声であるとか、あれはあれで、では新しいのをどうするんだとか、非常にちょっと施設整備については、来年度1年間かけてこれからの整備のあり方というのを市役所の中でしっかりもう一回議論しますので、その中でいろいろな市民の方の声も伺いながら、財政面での制約もありますので、いいでしょう。お金はある方なんですけれども、それでも30年後、50年後、先に子供たち、お孫さんたちの代に迷惑をかけないような整備のあり方というのも考えていかなきゃいけないのかなと思っています。と、そこですね。	—	クリーン推進課
まちづくり	18	公民館の施設管理について	木下	公民館の冷房が効かなくて困っています。改善をお願いします。	中央公民館の冷房については、予算がつかまりましたので、直ります。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。	大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。補正予算での対応により、令和7年度夏までに冷暖房機の設置が間に合うよう、努めてまいります。	生涯学習課
市役所づくり	19	マニュアル化の廃止について	共通	テレビで保健所の職員のインタビューを聞きました。コロナに感染した妊婦の方がいて、その職員はマニフェストに基づいて「マニフェストにない仕事はしない」と答えました。結果的に、その妊婦と赤ちゃんは亡くなりました。マニフェストにないから何もしないという対応は問題だと思います。	マニュアル以外の対応やたらい回しにしない業務改善については、私も同感です。市役所の職員は非常に真面目に働いていますが、市民の方とは違うルールで動いていると感じます。例えば、市長への手紙がありますが、出してくださった方に対して、各担当が原案を作成します。その際、中の決まりを説明する方が多く、言葉遣いが非常にかたいです。市民の方々に対してどう接するかについて、価値観を変えていく必要があると感じています。こういう場で皆さんに指摘いただいたことを踏まえて、トップが言い続けることと、組織としてそれを徹底浸透させること、マネジメントの方々の研修も大事だと思います。これらを進める必要があると考え、今、動き始めています。	マニュアルは業務運営において重要なツールである一方で、職員が現場の状況や市民ニーズに応じて柔軟に対応できる力を養うことも重要であると考えております。職員一人ひとりが自ら考え行動することで、より良い市民サービスの向上に努めて参ります。	総務課
市役所づくり	20	横断的な連携について	共通	分野横断的な連携を強化し、柔軟な対応をお願いします。	たらい回しにしない対応が必要です。地域相談課という地域ごとのまちづくりを進める課を設置するのも良いと思います。地域に寄り添ったまちづくりを進めるため、地域相談や地域担当課を設けることを提案します。組織を変更するのは大変ですが、まず来年度は、少なくとも支所や出張所で全ての書類の受け取りができるようにし、本庁舎と話す必要がある場合は、その場で電話をつないでもらえるようにすることを考えています。その先に、地域に寄り添ったまちづくりができるよう、各支所・出張所の機能強化を図りたいです。	本庁、支所、出張所の将来的な配置の在り方（方向性）について、印西市行政系施設配置検討会議において、行政系施設の配置方針について検討しております。藤代市長の公約である、支所・出張所の強化として、本庁に来なくても手続きが出来るよう、地域担当課の設置及び本庁の体制強化を含め、行政系施設の体制整備を進めて参ります。	総務課 市民課 市民サービス課
市役所づくり	21	たらい回しにしない対応について	共通	マニュアルとか研修をして、お客様の身になって、市役所の対応がたらい回しにならないようにしてほしいです。	マニュアルとか研修をして、お客様の身になって、市役所の対応がたらい回しにならないようにしてほしいです。		
市役所づくり	22	業務改善について	共通	業務改善のために、職員からの意見を取り入れる仕組みを作ってほしいです。	業務改善について、今、職員の方々からアンケートを取り、どういうことが改善できるのかを調べています。それを踏まえて、できることから進めようと思っておりますが、こういうのは続けることが大事です。一回受け取って終わりではなく、組織として常に業務改善を続けられる仕組みを作ることが重要です。例えば、民間企業では週に一回のミーティングで状況を共有していますが、市役所では同じ業務を続けているため、そういう機会が少ないです。各課で継続的に改善を考えることが必要です。週に一回の打ち合わせを持つことで、意見が出やすくなります。市長、副市長、教育長で週に一回の打ち合わせを持ち、部長も加えたものを設けました。これを各課係まで広げていくことを来年度の目標にしています。意識改革は難しいですが、トップが言い続け、仕組みを実装し、市民を巻き込んで進めていく必要があります。	—	総務課
市役所づくり	23	単身世帯等の高齢者支援について	共通	市役所に新しく『おひとり様高齢者の支援課』を設置していただきたいです。ここの在地区では高齢の方も元気ですが、ニュータウン地区は遠方から来た方が多く、ひとり暮らしや二人暮らしの方も多いです。未婚率や既婚率も高くなっており、自分が亡くなった後の手続きを誰に頼むか分からないのが現状です。高齢者や障がい者の福祉課などの窓口がありますが、手続きがうまく進まないことが多いです。神奈川県では終活支援として、直接契約して登録制度を作り、最後まで面倒を見ているところがあります。印西市でもこのような支援を検討していただきたいです。	最近、お悔やみコーナーが設置されました。これは、亡くなられた後にご家族がワンストップで必要な情報を得られる場所です。しかし、その前の段階での支援がまだまだ弱いと感じています。ニュータウンも含めて、今後10年で高齢化率が高い地域が増えます。現在、一番高齢化率が高い地域では65歳以上の方が過半数を占めています。これから一気に木刈3丁目、4丁目などでお亡くなりになる方が増え、一人暮らしの方も増えるでしょう。今、体制を強化しないと、皆さんの生活に不便をかけてしまうと認識しています。	—	市民課 高齢者福祉課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
市役所づくり	24	市役所の接遇について	共通	自衛隊に入っていたため、14回引っ越しを経験しました。14回いろいろな市町村に行きましたが、市役所や銀行、郵便局などの接客や受け答えが、今まで移動してきた中で一番良いと感じています。	ありがとうございます。こういうお声は本当に嬉しいです。厳しいご意見も大事でありがたいのですが、職員も人なので、褒めてもらえると伸びていくと思います。良いことがあった時には、ぜひ市長への手紙を書いていただくと、職員の皆さんも喜ぶますので、よろしく願いいたします。	—	人事課 秘書広報課
その他	25	行政手続区について	共通	行政手続を東葛地区に移行してほしいです。印旛地区よりも柏や松戸が近いです。	オンラインで完結できる仕組みを整えることが重要です。歴史的な経緯や現体制を踏まえ、移行は難しいですが、オンライン手続の改善を進めます。	—	総務課